9月6日㈰　下広川少年サッカークラブ

福岡県大会へ出場



下広川少年サッカークラブが、九州ジュニア（U-11）サッカー大会の予選を勝ち抜き筑後地区47チーム中、3位の成績で、12月に行われる県大会の出場を決めました。筑後市のチームと合同で活動していた2011年以来の快挙で、下広川少年サッカークラブ単独では約30年ぶりの県大会出場となります。

9月19日㈯・20日㈰・27日㈰　相撲・陸上競技

県民スポーツ大会（秋季）で入賞



「第69回福岡県民スポーツ大会（秋季）」が、福岡地区で開催されました。広川町からはバレーボール、相撲、弓道、剣道、陸上、卓球、バドミントン、バスケットボールの競技に出場。相撲競技では中谷晃さんが個人優勝、田中太一さんが個人戦3位、陸上競技では才所道弘さんが壮年男子（80代）100メートル、3,000メートルで3位に入賞しました。

10月3日㈯　町民×行政×企業

ジビエ料理や自然体験を堪能



SDGsワークショップで生まれた、町民のアイデアを形にした「逆瀬谷バーベキュー＆白金山ハイキング」が行われました。多世代30人以上が参加し、白金山へ登頂。参加者からは「白金山は初めて」「また参加したい」などの声がありました。今後も町民・企業・行政が協力して持続可能なまちづくりを進めていきます。

10月8日㈬　石川美怜さん

九州大会で2冠達成



下広川小学校5年生の石川美怜さんが、「第58回九州ジュニア水泳競技大会（9月開催）」に出場し、女子10歳以下の2種目（50メートル自由形・100メートル自由形）で優勝し、氷室町長と冨山教育長を表敬訪問しました。氷室町長から今後の目標を聞かれ、石川さんは「将来は世界水泳に出たい」と話しました。

10月16日㈭　戦没者・消防殉職者合同追悼式

世界の平和を願う



広川町保健・福祉センター「はなやぎの里」で「広川町戦没者・消防殉職者合同追悼式」が開催されました。今年度は、遺族や関係者90人が参列。先の大戦における多くの犠牲者および消防殉職者の御霊を追悼するとともに、恒久平和の祈念や追悼の献花、吟詠などが行われました。

10月19日㈪　野田ららさん

全日本中学校陸上競技大会に出場



広川中学校3年生の野田ららさんが、「第53回全日本中学校陸上競技選手権大会」の出場報告のため、氷室町長と冨山教育長を表敬訪問しました。女子100メートルに出場した野田さんは12.55秒を記録。今後の目標を聞かれ野田さんは「日本中学記録の11.57秒を抜き、日本新記録を目指したい。高校ではインターハイで優勝したい」と話しました。

10月11日㈰　広川まつり

みんな笑顔でまつりを楽しんだ１日












役場周辺で「第41回広川まつり」が開催されました。今年のテーマは「楽しかっ祭(さい)～まつりだよ！全員集合！～」。来場者が楽しめるさまざまな催しが行われました。まつりは、斗和保育園の園児による開会宣言でスタート。ステージでは、地元の園児や小中学生、一般団体によるパフォーマンスが披露されました。昨年好評の「赤ちゃんハイハイレース」も開催され、会場を盛り上げました。そのほか、体験ブースや移動動物園など多彩な企画もあり、笑顔があふれるまつりとなりました。

会場内で実施したチャリティー募金では総額20,243円が集まり、日本赤十字社を通じて熊本地震や豪雨災害の義援金に寄付しました。

10月　牟礼行政区

宝くじ助成で、親子で地域文化を学べるイベントを開催

牟礼行政区が「コミュニティ助成事業」を活用し、小学生と保護者を対象に「親子で描くまちのたから～守る伝えるプロジェクト～」を開催しました。

コミュニティ助成事業とは、(一財)自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業の一つです。

今回は地域の神社に奉納されている歴史的絵馬を題材に、専門家による歴史講座や、消防団員らを講師に迎えた防災ワークショップが行われました。

さらに親子で絵馬のイメージを創作する活動も行われ、地域の歴史や文化を学びながら、地域文化を守り伝える意識を育む有意義な機会となりました。







10月10日㈯～12日㈪㊗　ネイティブテキスタイル産地プロジェクト推進協議会

小中学生たちが、ものづくりの祭典「RENEW」へ参加

筑後地域の６人の小中学生が、「ちくごものづくりアンバサダー」としてネイティブテキスタイル産地プロジェクト推進協議会のメンバーと、福井県で開催されたオープンファクトリーイベントRENEWの展示販売エリアに出展しました。

この取り組みは、産地の未来を担う子どもたちが活躍できる場をつくる地域の子ども育成事業の一つ。現地で展示することを目標に、８月から町内で３日間のワークショップを行いました。草木染めを通して色が染まる仕組みを理解し、使用した地域の素材について調べたり、久留米絣や八女すだれについて学習したりして、福井県でどのように紹介できるかをみんなで考えました。

会場では、アンバサダー６人が大活躍。積極的に来場者へ声をかけ、絣や簾（すだれ）について学んだことを説明しました。

他地域のものづくりに触れる経験もしました。今回の活動報告を12月24日㈭、25日㈮、広川町役場１階で展示予定です。



11月２日㈪　広川町表彰式

町の振興や発展に貢献

はなやぎの里３階多目的スペースで「第53回広川町表彰式」が行われ、町の振興・発展、福祉向上に貢献した13人が受賞しました。氷室町長は、各分野で尽力された功績に感謝し、「これからも未来づくりに果敢に挑むため、豊富なご経験や見識から一層のご指導を賜りたい」と述べました。受賞者代表の角田さんは、「消防団長、衛生班長、区長として活動をまっとうできたのは、消防団員や地域住民、町役場をはじめとする関係機関の皆さまのご支援、ご尽力の賜物であると深く感謝しています。今後も地域の一員として、町の発展のために微力ながらも貢献していきたい」とあいさつしました。



【受賞者】（1列目）左２番目から冨久須恵子さん、古賀秀之さん、角田昭一郎さん、山村健さん、麻生登喜子さん（２列目）左１番目から船越誠治さん、御手洗信行さん、萩尾次郎さん、馬場信二さん、塩澄文子さん（右上）左１番目から稲員英治さん、姫野剛さん（当日欠席者）原野昌一さん（写真掲載なし）